

1歳～2歳

えんいだよ

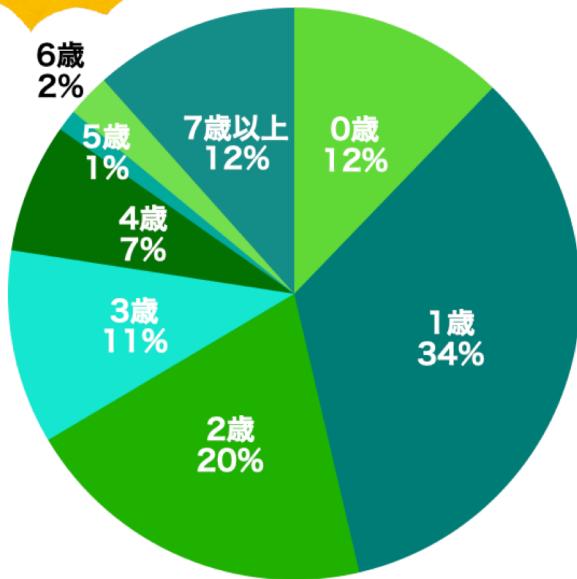


こんにちは。園の歯医者さん、松尾剛です。今回は、乳歯（子どもの歯）の前から4番目の歯についてお話をしました。これは乳臼歯（きゅうし）といって、臼（うす）の様に平べったく、大きな歯です。平均では1歳半くらいで生えます*。この歯がしっかり生えると、「奥歯で噛む」ということが少しずつできるようになり、何でも食べるなあと思う時期ですね。でも気をつけてください！みなさんに注意してほしいことがあります。

※ 歯が生える時期には個人差があります。

注意

歯が生えていろいろ食べれるようになってくる時期だからこそ、気をつけましょう！！



14歳以下の子どもの窒息または誤嚥事故

国の報告によると、食品により14歳以下の子どもが窒息または誤嚥（食べ物又は異物が気管に入ること）した事故で、1歳から5歳以下が86%です。また、1歳と2歳が特に多いですね！！**

原因で一番多いのは菓子類で、その次が豆・ナッツ類です。また球状の食品も注意が必要です。

とても残念なことに、誤嚥による死亡事故の報告もあります。9割以上は5歳以下でした。



何に気をつけたらいいですか？



食べ物をよく噛んで飲み込むという作業は、私たち大人は簡単にできますが、実はとっても複雑なメカニズムなんです。また大人は誤嚥してしまわないような防御機能（すぐに咳で出す）などが、十分に備わっています。しかし、子たちはまだ全てが発達の段階なんです（もちろん個人差はあります）。次のことに気を付けましょう。

- ①豆やナッツ類など、硬くて噛み砕く必要のある食品は、5歳以下の子どもには食べさせない。
- ②ミニトマトやブドウなどの球状のものは、4等分したりやわらかくして、よくかんで食べる。
- ③食べる時は姿勢をよくして、食べることに集中する。

